

番組審議会議事録

日時 令和7年11月19日(水) 午後1時00分～

場所 萩テレビ(株)放送センター2階会議室

出席者 審議員6名 会社側3名

議題

1 会社からの挨拶

新委員による1回目の審議会のため、審議会の役割などを説明し、
これまでの審議会での意見によって取り入れた事例や現在の放送状況などを話した。

2 委員紹介

委員6人の自己紹介を行った。

3 番組審議会についての説明

番組審議会や放送法について、資料を基に説明した。

4 委員長・副委員長 選任

会社側の推薦により委員長を、
委員長の指名により副委員長を、選任した。

5 自主制作番組についての説明

番組表と資料を基に、自主制作番組について説明した。

6 番組内容についての審議

会社側より委員に、番組・プログラムの全体的な意見を聞いた。

＜ 番組等についての意見 ＞

- ・ 審議委員になってからは以前よりラジオを聴くようになった。今後もラジオに耳を傾けていきたい。
- ・ 普段はお店で仕事をしており中々聞けないが、聞いている時に思うことはエフエム萩の番組はすごく情報が詰まっているなということだった。
- ・ この2年間で生きている情報が聴けたなと感じた。
- ・ 小さい時から家の中で母がラジオを聞いていて、ラジオを聴くことが当たり前の環境で育った。1日中ラジオを流して聞いている。車では萩を離れるとナナコの放送が途切れてしまうのは寂しいがなるべく今後も聞くようにしていきたい。
- ・ この度ラジオの審議委員となったが、中々ラジオを聴くことは出来ていないのが現状です。古い人間なのでKRY(山口放送)を朝のウォーキングの折には聞くことがある。
- ・ 前職が萩市の職員で、以前は萩市の提供番組に職員が朝昼夕交替でナナコに生出演して情報を発信していたのをよく聞いていた。

- ・ 市役所内でもラジオをつけて広報番組を聞いて職員の発信の内容を確認するようにしていた。今はパーソナリティが放送をする形に変わっており、懐かしを感じる。
- ・ 審議委員になり、今後もエフエム萩の放送をしっかりと聞いていこうと思っている。
- ・ 5年前まで東京に24年間住んでいてUターンしてきて萩で生まれ育ったのに萩の情報を集めるのが難しいと感じている。
- ・ 地域の情報は市報で見ることがあるが、きめ細かな地域の情報はネットでも見つからない。結局人のネットワークで少しずつ色々なことが分かってきたのが実情である。
- ・ インバウンド関係の仕事をしていて、外人の方から私たちが想像できないようなことを質問されたりすることもある。生きた情報を自分の言葉で伝えてあげたい。エフエム萩のラジオを聞いてリアルタイムな情報を吸収していきたいと思っている。
- ・ 番組表を見たり、自主放送の内容紹介を見て、みなさんが大変努力をしていると思った。そういったことを頭に入れつつ、色々なゲストや知り合いも出演しているので、今後は意識してラジオを聞いていきたいと思った。
- ・ エフエム萩の電波が届かない地域で生活をしており、リアルタイムでは聞けなかったが、審議委員になってポッドキャストで聞くようになった。特番では萩のイベントを臨場感あふれる形で番組作りをされていて感心した。
- ・ 観光客の方にも萩にはこのようなイベントがあるということを伝えたいので、このラジオを聞くことで内容がよくわかってよかった。これからの2年間もしっかり聞いて役立てたい。
- ・ この4月から広報課長としてこの審議委員会に出席している。自分が若い頃、萩市の提供番組「情報ウェーブ萩」で朝昼夕生出演したことをよく覚えている。情報を発信するにはしっかりと勉強しないといけない。よい取り組みだったと思う。
- ・ 自分たちが若い頃はラジカセが家にあり、よく聞いたが、今はラジオが家にない。ラジオの魅力というものを伝えていって、ラジカセがなくてもポッドキャストでラジオを聞いてもらえるようにしていきたいと思う。
- ・ 今後直接ラジオに出演して発信したい情報があるときは積極的な活用していきたい。

＜ 会社からの回答等 ＞

- ・ 萩市の広報番組「情報ウェーブ萩」については、広報課から情報をいただいてきめ細かく正確な情報発信につとめている。
- ・ エフエム萩の情報を通じて地域がつながるということが大事。放送を通じてネットワークが広がっていくことに喜びを感じる。
- ・ たくさんの方にゲストに出ていただき、イベントの詳しいお話しやパーソナルな情報を発信していただくことがエフエム萩のコンセプト。
- ・ 萩市の情報発信を更に強化しリスナーの方が身近に感じてもらえるように今後も制作をしていくと伝えた。

7 次回開催日など

次回開催は、令和8年1月14日水曜日午後1時30分からと決まった。

審議番組は、吉本興業山口県住みます芸人のぶるぼんさん担当の「アフタヌーン 775」に決まった。